



2年学年会方針

進路実現のための基本的生活習慣の確立

探究活動に向けて

「総合的な探究の時間」という授業が試行されて三年目、多くの本校生徒が学びを深めています。コロナ感染拡大を受けた中ですが、遠足や修学旅行でのフィールドワーク、戦争と町の復興というテーマでの調査など新しいスタイルの学習に取り組んでいます。二年生は各自、二月に自分の研究の中間報告を行います。この発表で自分の研究に何が足りないのか、アドバイスをもらったり、ヒントを得てもらいます。最終報告は次年度の十一月月上旬の教育ウィーク期間中になります。保護者や外部の方が参観しやすくなる反面、生徒たちのスケジュールが八十日ほど早まります。ですので二年生から三年生まで切れ目のない指導を行っていききたいと思えます。



▽冬休み宿題(一月七日に提出)

- ① ワンウィークトライアル 国・数・英
 - ② 冬休み明け基礎力診断テストに向けてのグループクラスルーム 配信問題に随時取り組む。
 - ③ 漢字検定用問題集を全て仕上げ
 - ④ 漢字検定に向けての模試プリントに60分間で取り組み、自己採点する。
 - ⑤ 第一志望調査書を保護者と相談し作成する。
- なお、一月から就職希望者はジョブサポートティーチャーの富永先生(元金沢商業高校校長)と、進学希望者は学年主任上提と、面談を開始します。

ひとこと教育メモ⑦

子どもの進路はいつも保護者の悩みの種ですね。中でも就職に向けての決断は重たいです。これまで多くの生徒を見てきて、子どもが自ら決断してその道に進むことが、一番良かったように思われます。ですので考え方としては、「適切な情報を与える」「判断は子ども自身」の二本柱でいかがでしょうか？



模擬選挙 来年はいよいよ有権者です！